



キリストの 弟子になろう

聖書が教える主の弟子とは？

アウトライン

I. 旧約時代の弟子たち

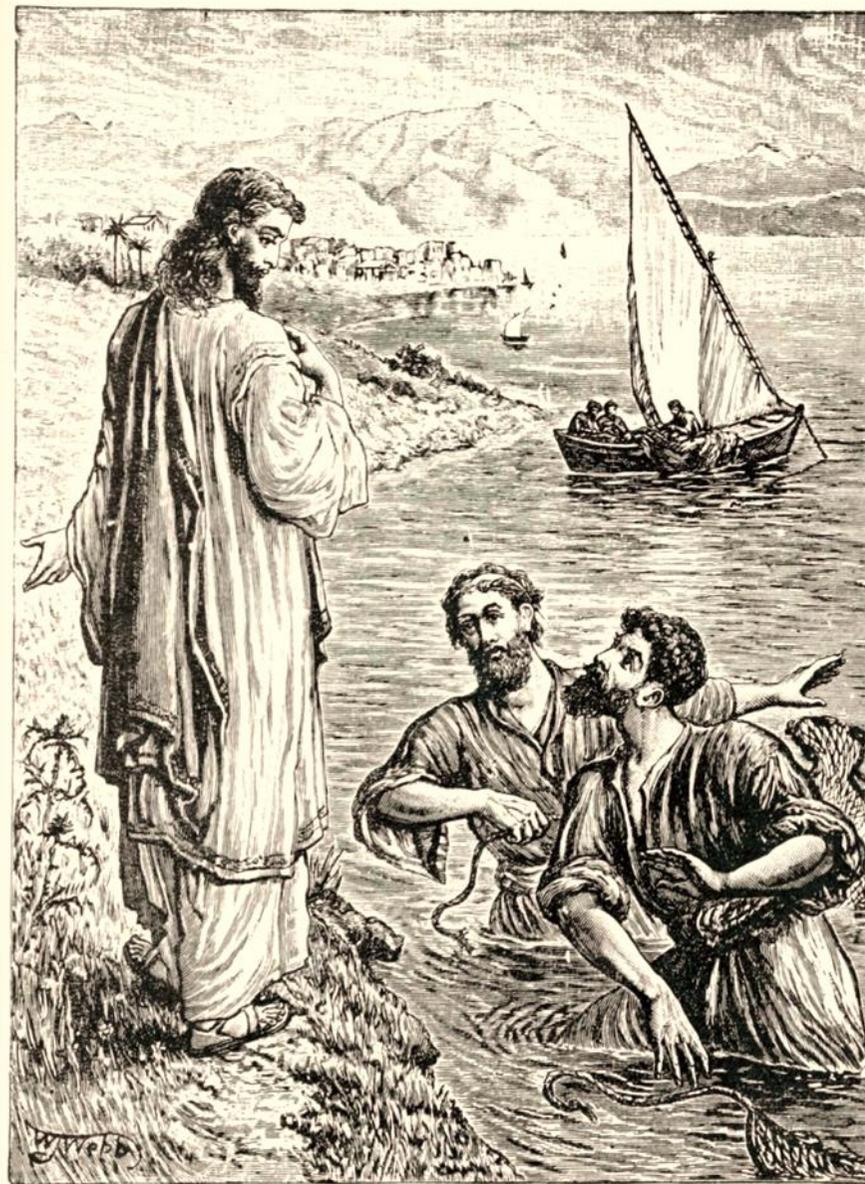
II. メシアの弟子たち

III. 教会時代の弟子たち

IV. まとめと適用

キリストの弟子として

歩もう





Ⅰ. 旧約時代の弟子たち

王国時代 奏楽隊の弟子 | 歴代25:8

彼ら、および、【主】にささげる歌の訓練を受け、みな達人であった彼らの同族の数は二百八十八人であった。

彼らは、下の者も上の者も、達人も**弟子***も、みな同じように任務のためのくじを引いた。

*“タルミード”…奏楽隊 **師弟関係が!!**

【奏楽隊の働き】…レビ人から選出

- ① 神殿の礼拝での**奏楽**
- ② 奏楽に合わせて**預言**する(I 歴25:8)
- ③ 全イスラエルを**教え導く**(II 歴35:3)



南北時代 預言者集団 II 列王 2:15

エリコの預言者の仲間たち*は、遠くから彼を見て、「エリヤの霊がエリシャの上にとどまっている」と言って、彼を迎えに行き、地にひれ伏して礼をした。

- エリヤが天に挙げられた後の場面
- イスラエルに残されていた信仰者たちをまとめ、エリヤは、預言者集団*を組織。
→ 継承した一番弟子が、エリシャ

師弟関係で育まれて行った預言者たち



南北時代 主の弟子たち イザヤ8:16

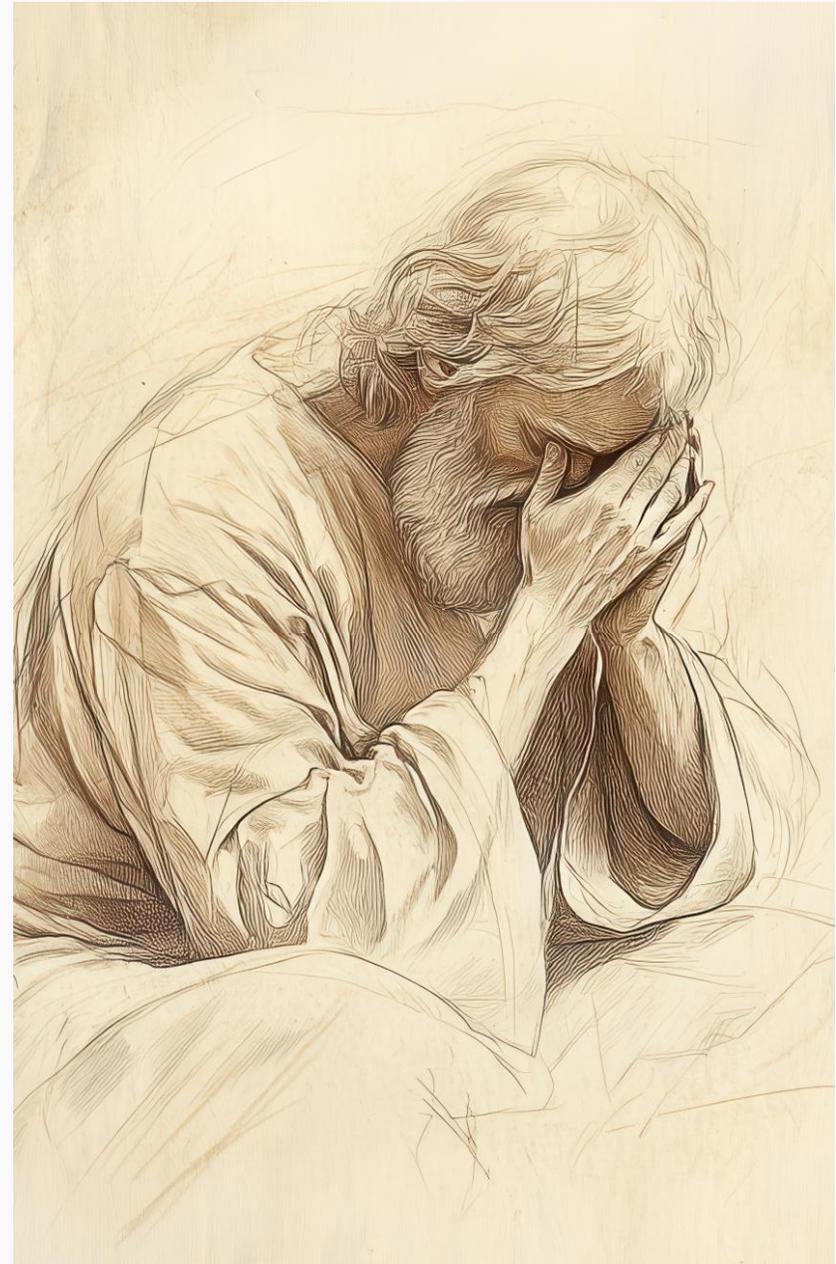
「この証しの書*を束ねよ。このおしえ*をわたしの弟子*たちのうちで封印せよ。」

*律法

■ イスラエルへの裁きの宣告の場面

主の弟子である預言者たち*に対して、民に、もう律法を教えるなど、神が宣告。

➔ 教えも警告も十分に与えられてきた



南北時代 預言者は主の弟子 イザヤ 50:4

【神】である主は、私に**弟子**の舌を与え、疲れた者を**ことば***で励ますことを教え、朝ごとに私を呼び覚まし、私の耳を呼び覚まして、私が**弟子**として聞くようにされる。

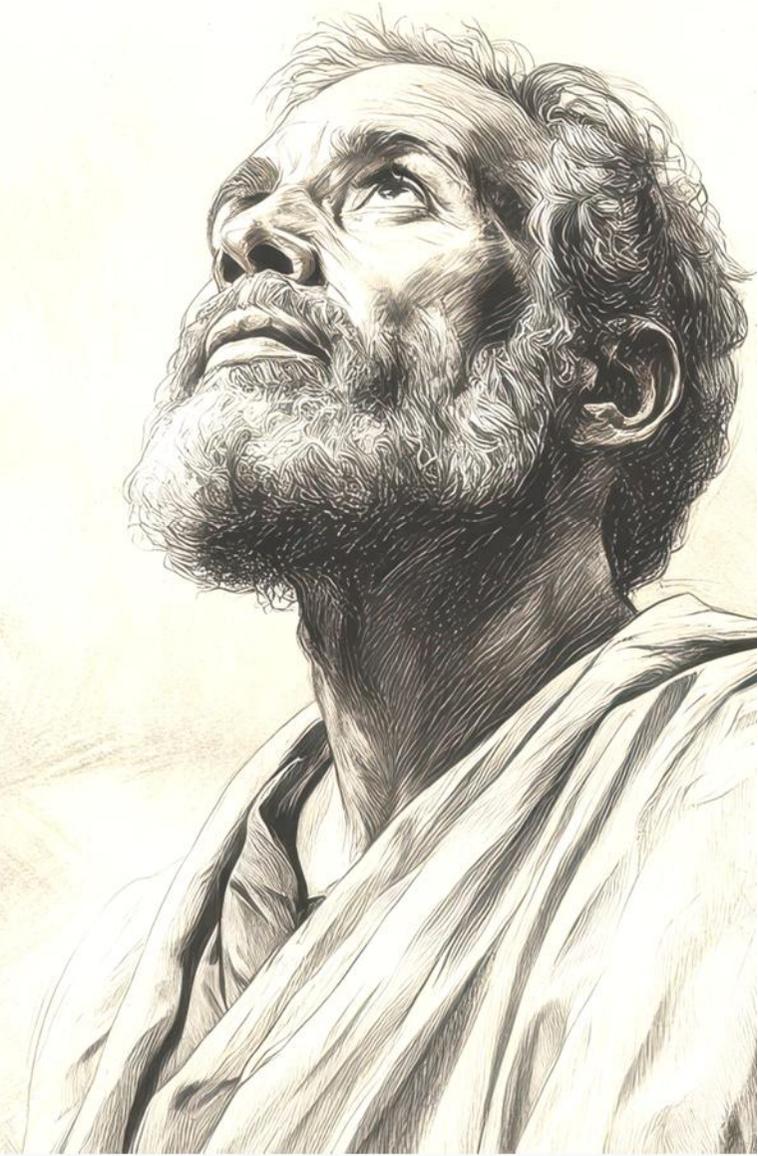
*“リムード”…弟子、慣れた者、使われる者

*神の言葉で、神の民を励ます

■ 神の言葉を民に取り次ぐ**預言者** → **主の弟子**

【預言者の働き】

- ① 主の弟子として、主の**御言葉を聞く**
- ② 主の弟子として、主の**御言葉を教える**



旧約聖書における弟子

- 奏楽隊も預言者も、師弟関係で育まれていた。
- 預言者は、第一に、**主なる神の弟子**
 - ① 主の弟子として、主の**御言葉を聞き**、
 - ② 主の弟子として、主の**御言葉を教えていた**。
- 師弟関係をもとにした教育システムは、新約時代のイスラエルにも継承されていた。



II. メシアと弟子たち

発端 最初の出会い ヨハネ1:35～37

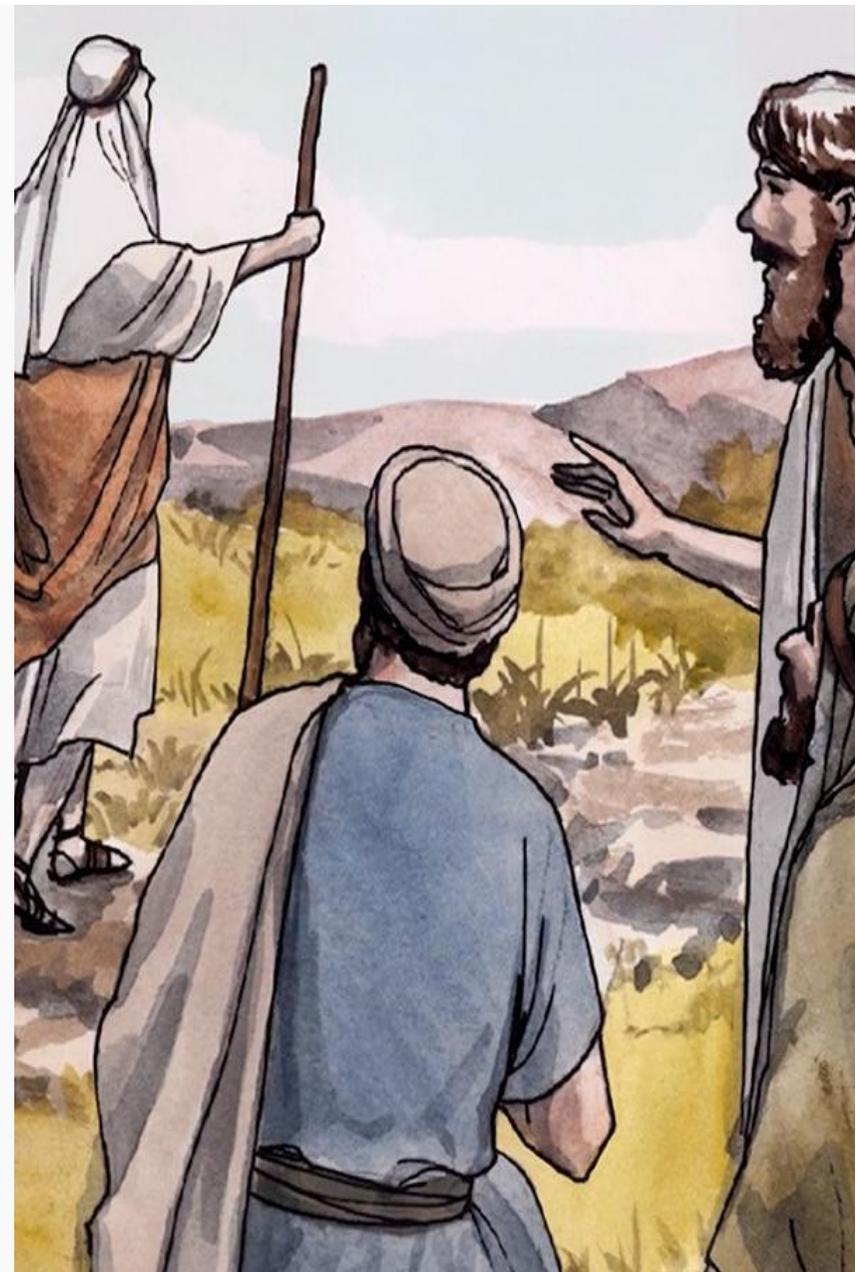
その翌日、ヨハネは再び二人の弟子*とともに立っていた。そしてイエスが歩いて行かれるのを見て、「見よ、神の子羊」と言った。二人の弟子は、彼がそう言うのを聞いて、イエスについて行った。

*アンデレとヨハネ、その後にペテロも。

先にバプテスマのヨハネの弟子だった。

➡ 漁師の傍ら、折々にヨハネを訪問

➡ イエスと出会い、メシアの弟子に
この時点では、パートタイムの弟子



決意 招きへの応答 マタイ4:18～20

イエスはガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが、湖で網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師であった。

イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい*。人間をとる漁師にしてあげよう」
彼らはすぐに網を捨ててイエスに従った。

*通常は、弟子入り希望者がお願いをする

■この時から、フルタイムの弟子になった。

➡以後、3年半、イエスと寝食を共に!!



派遣 12人の派遣 マタイ10:7～8

行って、『**天の御国が近づいた***』と**宣べ伝えなさい**。病人を癒やし、死人を生き返らせ、ツアラアトに冒された者をきよめ、**悪霊ども**を追い出しなさい。あなたがたはただで受けたのですから、ただで与えなさい。

- **メシアの権威***を帯びて派遣された12人。
 - ➔ **メシアへの徹底した信頼が求められた。**
お金も食料も替えの服すら持たずに。
- **イスラエルがメシアを受け入れれば、**
この時点で**神の国***は建設された。



派遣 弟子の心得 マタイ10:16

いいですか。わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。ですから、**蛇**のように賢く、**鳩**のように素直でありなさい。

■ **蛇** …**人間の罪をよく知る、賢さ**

■ **鳩** …**神の命令に忠実な、素直さ**



訓練 たとえ話 マタイ13:34~35

イエスは、これらのことをみな、**たとえ**で群衆に話された。**たとえ**を使わずには何も話されなかった。

- イスラエル指導者との対立の激化に伴い、イエスは、**たとえ話**を多用するように!!
- 群衆には、**たとえ話**のみ → 理解不能
弟子たちには意味を解説 → 弟子訓練

キリストによる解説が、弟子訓練の中心

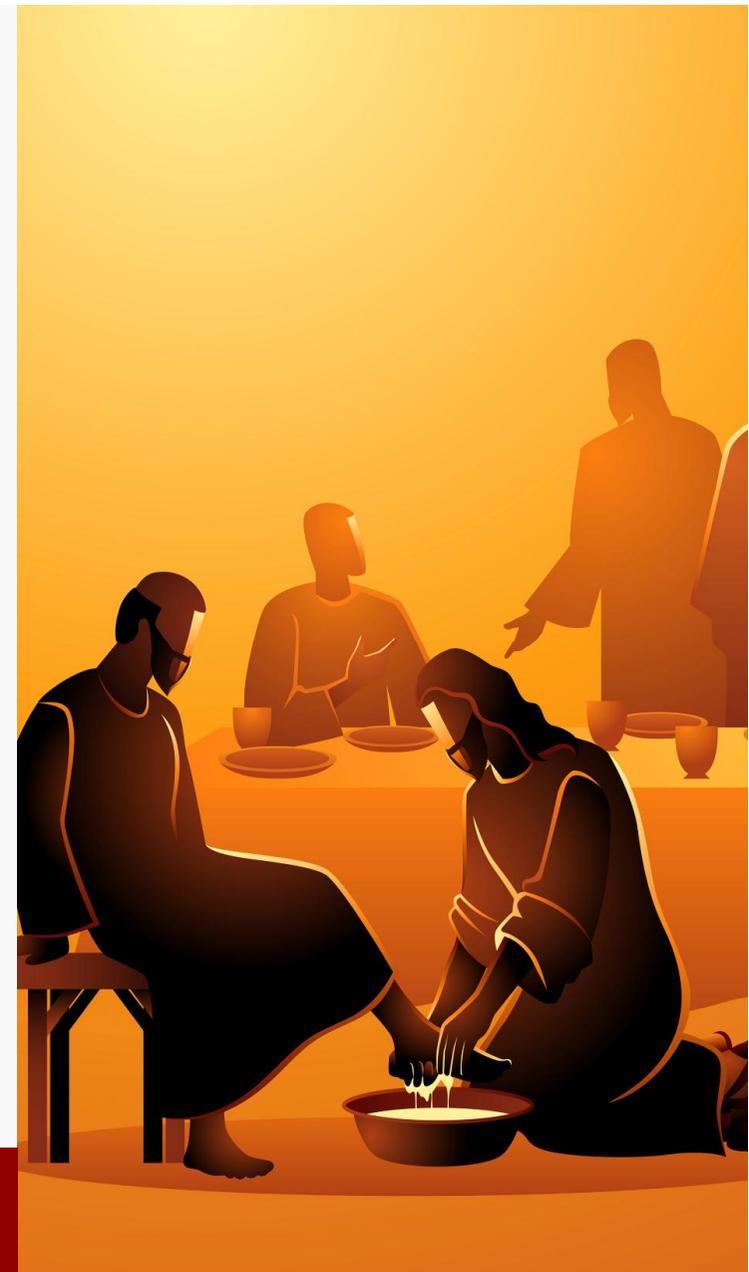


姿勢 仕えあいなさい ヨハネ13:12~14

イエスは彼らの足を洗うと、上着を着て再び席に着き、彼らに言われた。「わたしがあなたがたに何をしたのか分かりますか。

あなたがたはわたしを『先生』とか『主』とか呼んでいます。そう言うのは正しいことです。そのとおりなのですから。

主であり、師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのであれば、**あなたがたもまた、互いに足を洗い合わなければなりません。**



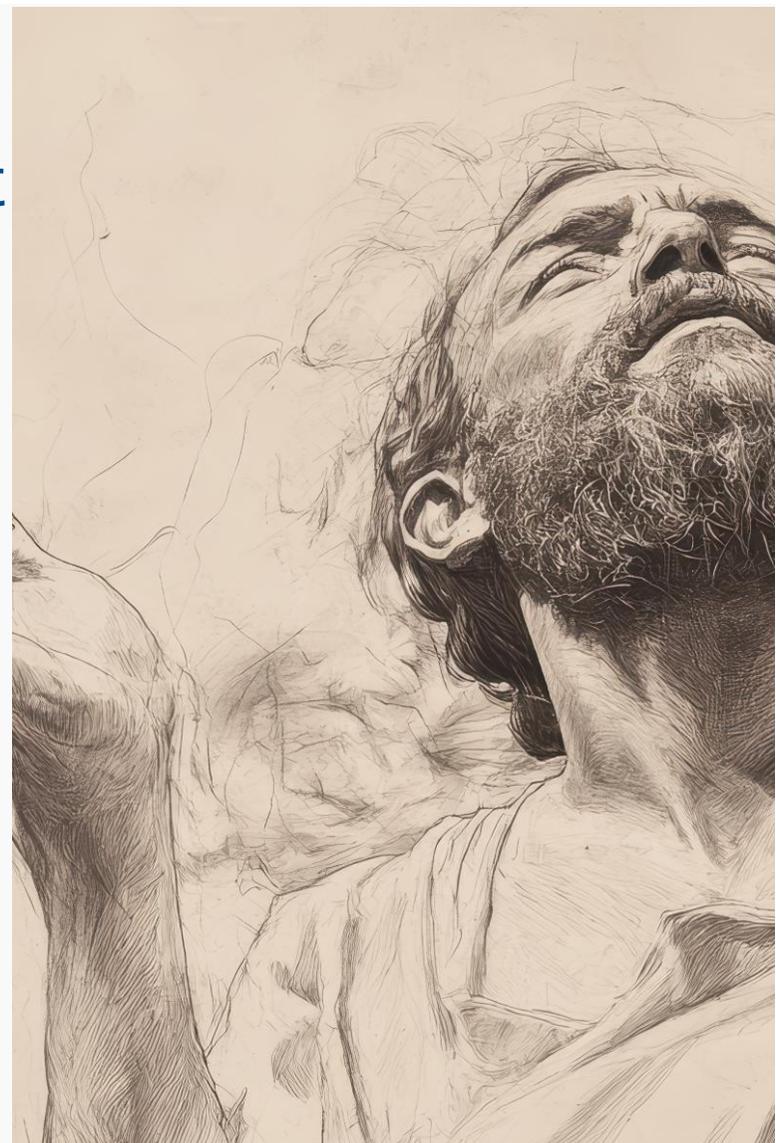
キリストの弟子は、互いに仕えあう

受難 最後の訓練 ルカ22:31～32

「シモン、シモン。見なさい。サタンがあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って、聞き届けられました。

しかし、わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくならないように祈りました。ですから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」

- イエスの捕縛後、弟子たちは散り散りに。
➡ ペテロは三度、メシアを否認

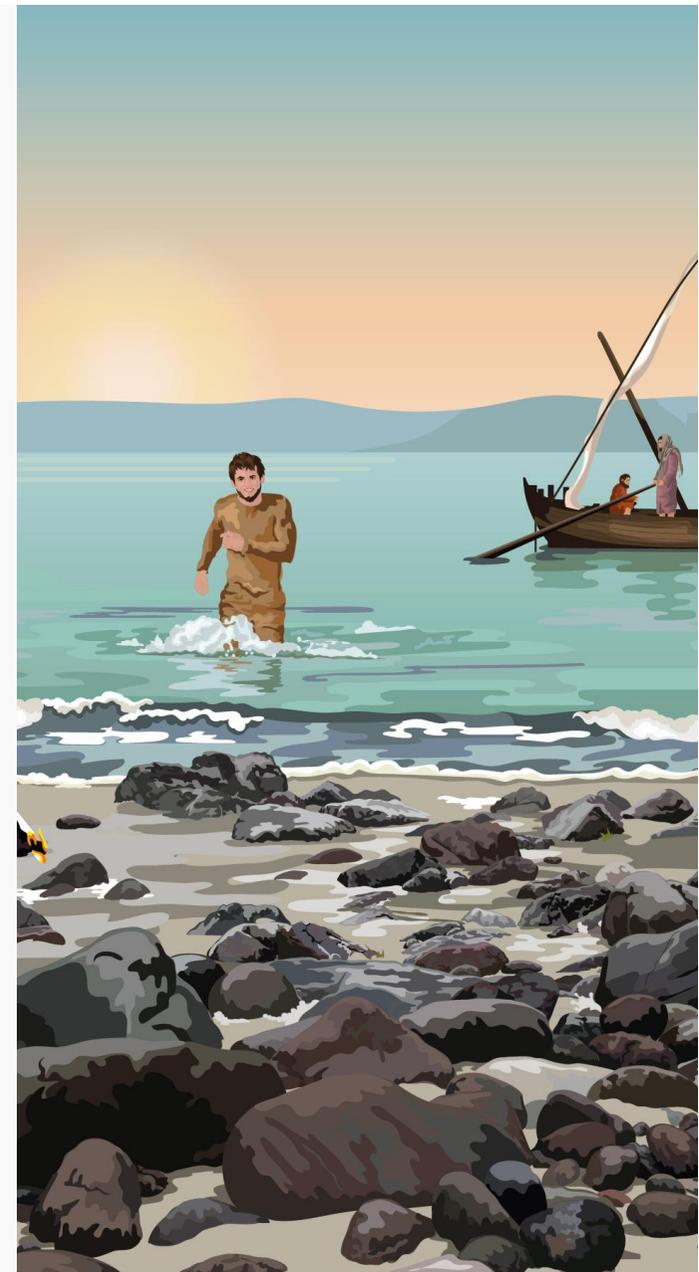


キリストは、十字架で死なれ、葬られ、復活された

回復 復活の主の招き ヨハ21:17

イエスは三度目もペテロに、「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛していますか」と言われた。ペテロは、イエスが三度目も「あなたはわたしを愛していますか」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ、あなたはすべてをご存じです。あなたは、私があなただを愛していることを知っておられます。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい」

- リーダーとして群れの牧会を託されたペテロ。同時に宣教の苦難も示された。





II. 教会時代の弟子たち

昇天前のキリストの大宣教命令

■ マタイ福音書28:18～20

「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。

ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を**弟子**としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。

見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

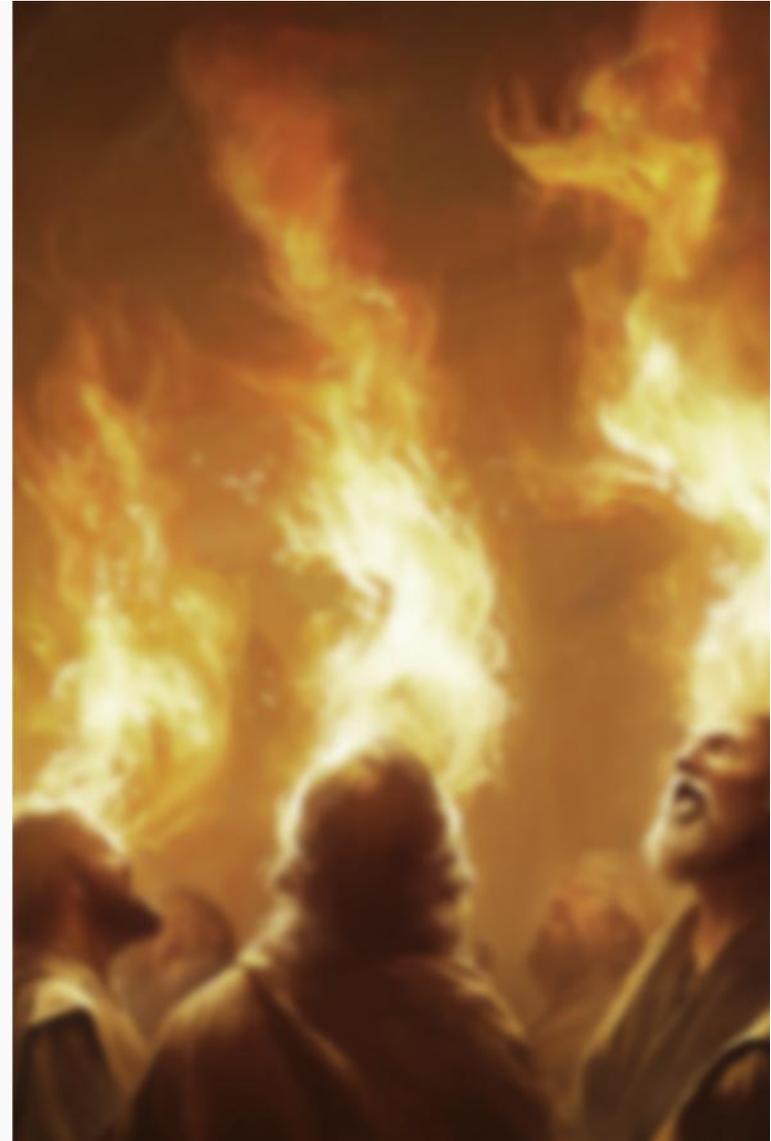
聖霊降臨

ペンテコステ 使徒2:1～3

五旬節の日になって、皆が同じ場所に集まっていた。すると天から突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。

また、炎のような舌が分かれて現れ、一人ひとりの上にとどまった。

■ **聖霊**が降り、教会が誕生。ペテロが促した悔い改めに応答して、3千人が救われた。



内に住まわれる聖霊が、キリストの弟子を支え導く

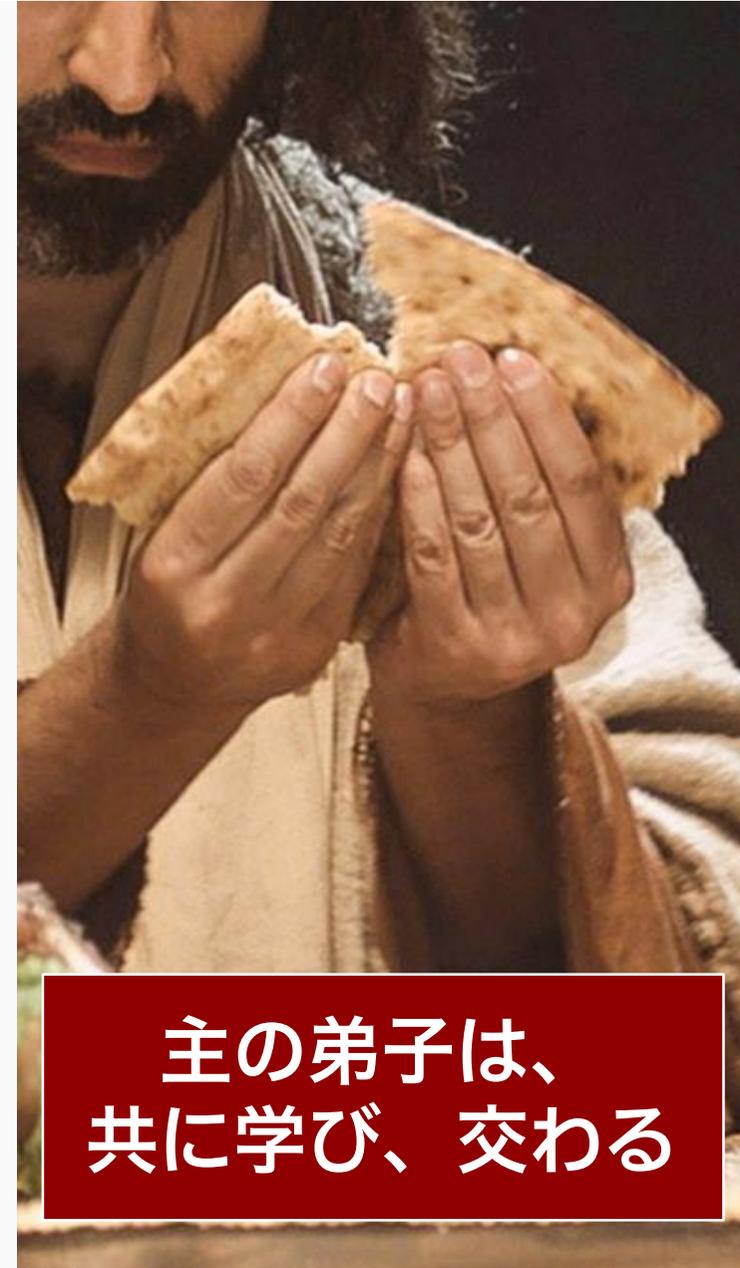
原点 教会の教えと交わり 使徒2:42~47

彼らはいつも、使徒たちの**教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈り**をしていた。

すべての人に恐れが生じ、使徒たちによって多くの思議と**しるしが**行われていた。

信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。

そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにしてくださった。



主の弟子は、
共に学び、交わる

派遣 弟子は遣わされる ロマ10:15

遣わされる*ことがなければ、どのようにして宣べ伝えるのでしょうか。「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は(イザヤ52:7)」と書いてあるようにです。

- 主に打たれたパウロには、アナニアが派遣。パウロは、ギリシャ、ローマへ遣わされた。
- 私たちすべてのクリスチャンは、遣わされた人がいて、救いに至った。



キリストの弟子は、キリストに遣わされて行く!!

派遣 今に続く使徒の働き 使28:30~31

パウロは、まる二年間、自費で借りた家に住み、訪ねて来る人たちをみな迎えて、少しもはばかりことなく、また妨げられることもなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えた。

- ローマで殉教したと言われるパウロだが、神の視点では、妨げるものは何もなかった。



使徒の働きは未完のまま、弟子である私たちに続いている



IV. まとめと適用

キリストの弟子として歩もう

キリストの大宣教命令

■ マタイ福音書28:18～20

「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。

ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を**弟子**としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るようになさい。

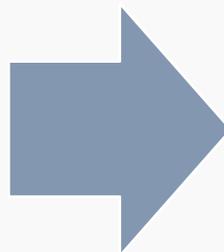
見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

行きなさい 弟子としなさい

■ マタイ28章19節・原文順の私訳

「行きなさい、弟子としなさい。あらん限りの人を」

→「信者を増やせ、囲い込め」ではない!!



信じた者は、遣わされる

■ 私が信じることができたのは、
私に遣わされてきた人がいたから。

➔ 今度は私が、遣わされて行く番だ!!



キリストに遣わされるのが、キリストの弟子

神の子どもは、訓練される

■ヘブル人への手紙12:4~7

あなたがたは、罪と戦って、まだ血を流すまで抵抗したことがありません。

そして、あなたがたに向かって子どもたちに対するように語られた、この励ましのことばを忘れていません。

「わが子よ、主の**訓練**を軽んじてはならない。主に叱られて気落ちしてはならない。

主はその愛する者を**訓練**し、受け入れるすべての子に、むちを加えられるのだから。」

訓練として耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が**訓練**しない子がいるのでしょうか。

神の子どもは、訓練される

- 神の子ども、キリストの弟子である私は、**訓練**される。
→ 神に愛され、選別された、それが、**義認(救い)**
- キリストの弟子が**訓練**され、成長する過程が、**聖化**
→ 神は愛する子の成長を願っておられる
- 怠惰や様々な誘惑と戦い、訓練する選手のように、
信仰の**訓練**の中心は、罪と抗い、戦うこと。
→ 御言葉に堅く立ち、聖霊に助けられることが必須

神を愛する、神の子どもとして

■ ヨハネの手紙第一5:2~3

「神を愛し、その命令を守るときはいつでも、
私たちは**神の子どもたちを愛する**のです。

神の命令を守ること、それが、**神を愛する**ことです。

■ 神を愛するとは？

① **神の命令を守る**

② **神の子どもたち(神の家族)を愛する**



神の子どもとして、主に従い、神の家族を愛そう!!

神を愛し、神の家族と愛し合おう

① 神を愛し、主の御言葉に聞き従おう

「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。Ⅱテモ3:16」

② 神の家族と愛し合おう

「兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに相手をすぐれた者として尊敬し合いなさい。ロマ12:10」

キリストの弟子が遣わされた先の終着点

■ イザヤ書52:7~10

良い知らせを伝える人の足は、山々の上にあって、なんと美しいことか。平和を告げ知らせ、幸いな良い知らせを伝え、救いを告げ知らせ、「あなたの神は王であられる」とシオンに言う人の足は。

あなたの見張りの声とする。彼らは声を張り上げ、ともに喜び歌っている。彼らは、**【主】がシオンに戻られる**のを目の当たりにするからだ。

エルサレムの廃墟よ、ともに大声をあげて喜び歌え。【主】がその民を慰め、エルサレムを贖われたからだ。

【主】はすべての国々の目の前に聖なる御腕を現された。地の果てのすべての者が私たちの神の救いを見る。』

キリストの弟子が遣わされた先の終着点

- 携挙(空中再臨)の時、教会は天に挙げられる。
- 主イエスが栄光の王として再臨、神の国を建てられる。福音を信じたすべての者が、永遠に招き入れられる。
- **キリストの弟子**として歩んだ者に与えられるのは、地上での個々の働きに応じた、はかりしれない**報酬!!**
→ **神の国で、与えられた地を治めることに!!**

キリストの弟子に約束された、はるかな報いがある

★ キリストの弟子として ★

■ 私たちは、いつしか内に閉じこもっていないか？
集まるのは楽しいけれど、その楽しみはその時だけ。
共に遣わされることには、比べもののない喜びがある。
例) 遣わされてきたイッピエへの祝福

■ 主が私たちを子として愛し、願われていることは、
主の弟子として遣わされ、訓練され、成長すること。

**神を愛し、主の御言葉に堅く立ち、
愛する神の家族と共に遣わされていこう!!**

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

② 墓に葬られ、

③ 三日目に復活されたことを、信じます。

わたし でし
私は、キリストの弟子です。

しゅ わたし あい こ くんれん
主は、私を愛する子どもとして訓練して下さいます。

みことば まな かみ かぞく あい あ わたし せいちょう
御言葉を学び、神の家族と愛し合います。私を成長させてください。

ふくいん たずさ せいれい たす う わたし つか
福音を携え、ご聖霊の助けを受けて、私はここから遣わされます。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」